

四国民放クラブだより

〓総会開催〓役員改選、経費削減など決める〓

30年度総会は4月11日、徳島市阿波観光ホテルで会員39人が参加して開催されました。四国放送・湯村雅彦社長、日本民放クラブ・橋本春海事務局長の来賓挨拶のあと、議事に入りました。

平成29年度の事業報告、収支決算報告や平成30年度事業計画案、予算案などを審議採択して閉会しました。

その中で、会員が減っていることによる収支改善策として、今年度から80歳越え会員に与えられていた年会費免除の取り消し、総会時懇親会費の自己負担額の増額、ゴルフ部会・空海部会・写真部会への部会補助費の減額などが決まりました。

80歳越え会員への年会費復活は、前年の総会で、29年度からは80歳まで徴収していたが、今年度からは全員徴収へと変更され、該当者が多かったが、説明者が総会参加最年長だったこともあり、苦笑のうちに拍手で採択されました。

四国民放クラブは2年ごとに幹事地区が替わっており、今年度から幹事地区が高知から徳島にバトントッチされました。それに伴って役員の改選も行われ、新役員として、会長 佐藤博治(JRT) 副会長 田村祐二(RNC) 理事長 宮島清文(JRT) 副理事長 上村基(RKC)。その他、理事6人、監事2人、顧問4人を選出しました。

来賓挨拶で、放送法改革、偏向報道、フェイクニュースの危機、また公務員人気なども相まって、特にローカル局の採用試験に人の集まりが悪いが、テレビラジオの果たすべき役割は大きいという話や、四国民放クラブの発展していることに対しての賛辞、九州民放クラブに鹿児島が25人くらいで立ち上がる旨の報告もいただきました。その他の決議事項として、「日本民放クラブ会報」への投稿等を担う編集委員について、各県に担当者を決め、うち1人が会報関係連絡窓口となり、3県へ執筆依頼し、自県を含む原稿の取りまとめ及び「日本民放クラブ」へ投稿す

るとし、任期2年、事務局交代の総会時に改選することにしました。事業案、予算案などを提案通り決議して閉会し、続いて行われた懇親会で、再会を祝して楽しく杯を酌み交わしました。



平成30年度総会

四国春のゴルフ例会

今年4月12日、新緑まぶしい徳島の「JクラシックGC」で開催。参加者22人中80歳越えがなんと10人。壮烈な高齢者レースとなる。特筆したいのは熟女三人組。

南海の牛島さんと四国の内藤さんも共に80越えで、ゴルフ部会発足以来の皆勤賞組。特に牛島さんは毎回大阪から飛行機またはバスで四国入りするという熱心さ。「百まで頑張るぞ！」と意気軒昂。

お二人とも過去にはドラコン、



みんなそろって



優勝の出井正武さん(左)

ニアピン等各賞の実績もあるが、今回は下位に甘んじた。もう一人西日本の亀山さんは5年前に定年退職後入会。ゴルフの腕前は県アマ大会クラスで、例会では男性を尻目に、再三上位入賞の実績あり。「孫の面倒見があるの」でゴルフの練習はままならない」とのことだが、はたして今回も2位入賞。優勝はやっとテレビ高知の出井氏が達成して終了した。